学校番号	304

令和３年度　情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	改訂版　高等学校　社会と情報（数研出版）						
副教材等	改訂版　社会と情報　サポートノート（数研出版） ３０時間でマスターOffice2016（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

座学では、情報化社会で生きてく上での基本的な知識を習得し、個人情報・著作権などの問題点を踏まえ、情報モラルも身につけてもらいたいと考えています。
実習では、ワード、エクセル、パワーポイントなど情報発信に必要な基本的な知識と技能を習得してもらいます。基本的にLAN教室での実習が主体になります。１時間の授業に集中し、わからないことは机間巡視の際、遠慮せず聞いてください。「習うより慣れろ」という気持ちでコンピュータに苦手意識を持たずに楽しみながら授業を受けてほしいと思います。

2　学習の到達目標

情報社会に主体的に対応できる能力と態度を育てることができるように、情報に関する科学的な見方や考え方を身につけると共に、社会の中で情報や情報技術が果たしている役割や影響を理解させる。
また、情報や情報技術を活用するための知識と技能を身につけることができるように、実践的な内容も重視する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	情報の各分野に関する諸課題について感心をもち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身につけている。	情報の各分野に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的･基本的な知識と技術を基に、情報産業に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	情報の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、情報の各分野に関する諸活動を合理的に計画し、その技法を適切に活用している。	情報の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、現代社会における情報及び情報産業の意義や役割を理解している。
評価方法	学習状況の観察 定期考査の結果 実習作品 発表 相互評価	学習状況の観察 定期考査の結果 発表 実習作品 相互評価	学習状況の観察 課題作品・実習作品 発表 実技テストの結果 等	学習状況の観察 定期考査の結果 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	情報とメディア	情報とは インターネットの活用 メディアとは	 ○ ○	○ ○	 ○ 	○ ○	a:通信技術の発達と情報の扱われ方について関心をもっている。 b:「情報」がもつ意味やはたらきについて考え、その結果を適切に表現している。 c:インターネット上のさまざまなサービスを利用して情報を検索するための技能を身に付けている。 d:さまざまな情報の表現形式について理解している。	授業観察 実習作品 定期考査
1学期	情報社会と情報モラル	情報社会の光と影 情報セキュリティの確保 情報社会における法と個人の責任	○ ○ 	○ ○ ○	 ○	○ ○ ○	a: 情報社会が人に及ぼす影響や問題点について関心をもっている。 b: セキュリティを確保するために，ユーザ認証やアクセス制御などの必要性について考え，判断している。 c: 著作権などの知的財産権を侵害せずに，情報機器を活用することができる。 d: ネット上の詐欺や架空請求などの問題が，社会に及ぼしている影響について理解している。	授業観察 実習作品 定期考査
2学期	ディジタル情報と情報の活用	アナログとディジタル コンピュータのしくみ	○ 	 ○		○ ○	a: アナログとディジタルのちがいについて関心をもっている。 b: ハードウェアとソフトウェアのそれぞれのはたらきについて考えている。 c: 情報発信の目的に応じて適切なメディアで発信することができる。 d: ビット，バイトの概念や，ディジタル情報の量の単位について理解している。	授業観察 実習作品 定期考査

2学期	情報通信ネットワーク	コミュニケーション手段の発達 インターネットのしくみ インターネットの活用	○	 ○	 ○ ○	○ ○	a: コミュニケーションの手段として通信が発達してきた歴史に関心をもっている。 b: 情報を伝達するためにはプロトコルが必要であることについて考えている。 c: インターネットの特性をふまえて，インターネットを適切に活用することができる。 d: 情報通信技術の進展がコミュニケーション手段を変化させてきたことを理解している。	授業観察 実習作品 定期考査
3学期	望ましい情報社会の構築	情報システムと人間 問題解決	○	○	 ○	 ○	a: 人にとって利用しやすいユーザインタフェースについて関心をもっている。 b: 人にとって利用しやすいユーザインタフェースとはどのようなものか考え，その結果を適切に表現している。 c: 問題解決を行うために，情報機器を効果的に活用することができる。 d: 問題解決を行うためのプロセスを理解している。	授業観察 実習作品

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。